

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

本校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	5件はすべて同一人物による生徒間暴力または器物破損。今年度も校内体制の充実と生活指導の教化、および本人の特性を鑑みた関わり方の工夫が課題となっている。
②いじめの状況等	17件中2件は、3ヶ月の経過観察を行っている状況で、6月末までようすを見て解決を図る事案で、これを除いては、年度末までに解消したと認められる。
③小・中学校における不登校の状況等	長期欠席中の生徒に対し、登校時間をずらしての別室対応や地域と連携した個別対応を図り一部の事案は再登校の効果も見られたが、新たな不登校が2学期から増える状況も見られた。